

秋田大学「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」成果発表会アンケート集計結果

実施日 平成30年2月23日

会場 秋田大学手形キャンパス 一般教育2号館203教室

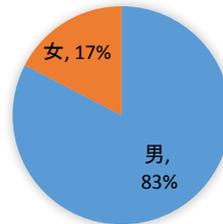
アンケート回収数46枚／資料配布数102枚＝回収率45.1%

1. あなたのことについてお答えください。

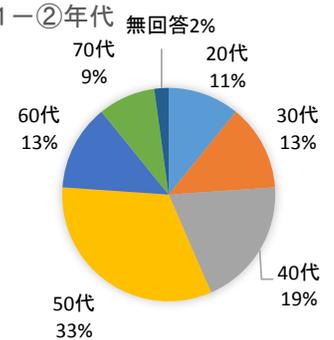
①性別

男	38人
女	8人

1-①性別



1-②年代



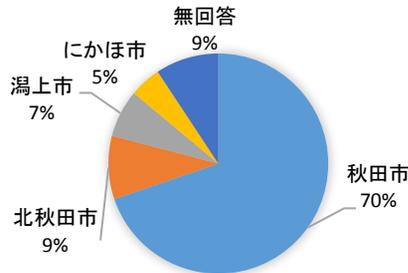
②年代

20代	5人
30代	6人
40代	9人
50代	15人
60代	6人
70代	4人
無回答	1人

③住まい

秋田県内	46人
秋田市	30人
北秋田市	4人
潟上市	3人
にかほ市	2人
無回答	4人
秋田県外	0人

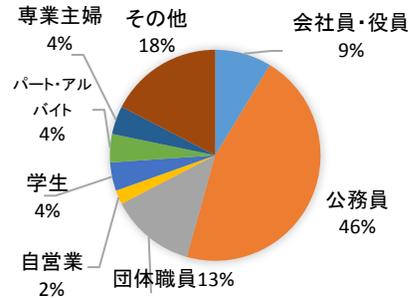
1-③住まい



④職業

会社員・役員	4人
公務員	21人
団体職員	6人
自営業	1人
学生	2人
パート・アルバイト	2人
専業主婦	2人
その他	8人

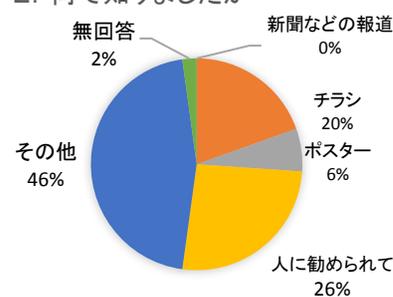
1-④職業



2. 成果発表会を何で知りましたか。

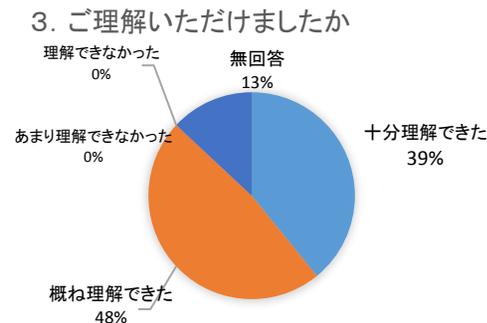
新聞などの報道	0人
チラシ	9人
ポスター	3人
人に勧められて	12人
その他	21人
無回答	1人

2. 何で知りましたか



3. 秋田大学のCOC事業についてご理解いただけましたか。

十分理解できた	18人
概ね理解できた	22人
あまり理解できなかった	0人
理解できなかった	0人
無回答	6人



4. 今後、秋田県の活性化のために、秋田大学にどのような取組を期待しますか。

- ❖ 人口減少についてもう少し突っ込んだ取組をしてほしい。
- ❖ COC事業で進めてこられた地域貢献をこれで終わりとせず、ぜひ継続し、それらを学内外に発信していただきたいと思っています。取り組むことはできていてもそれを発信することにもっと力を入れていくことが必要ではないかと思っていますところ。
- ❖ 水田先生の発表より、秋田大学に雪が積もらない屋根の開発を期待します。また、屋根の雪を溶かして、その水を再利用するなど開発してほしい。除雪は高齢者にとって切実な問題です。
- ❖ 学生を色々な地域に送り出すことを更に増やしていけば良いと思います。
- ❖ 基礎的、情報収集などの部分は抑えられていると思う。今後は目に見える効果に繋がる活動を望む。
- ❖ 数年単位ではなく、もっと長い時間の単位でぶれない取組と、その取組内容に対するビジョン、取組の継続。
- ❖ 課題取組に向けて行政対応等の取組を細くする専門的な助言等のバックアップ。
- ❖ 地元のお祭り等と学生さんを結びつける取組に期待します。
- ❖ 色々やってて驚いた。
- ❖ 観光、文化施設での外国語訳ボランティア。
- ❖ 特に少子化対策に繋がる取組。
- ❖ 今回のテーマをはじめ、県内各地で抱える課題にこれまでどおり一緒に取り組んでほしい。
- ❖ 学生の若い発想が地域に気づき(できるできないは別として)を与えてくれる効果は大変大きいと思います。
- ❖ 学生にとってもキャリア形成上プラスになるのでは？
- ❖ 分校機能の強化と拡充。
- ❖ 積雪期地震災害シミュレーションの実用化。
- ❖ 保有している知見を地域に対し教示していただきたい。県民、市民との距離感をどんどん狭めて欲しい。
- ❖ 大学視点での研究成果を活用するためにも、引き続き取り組んでいてもらいたいのはもちろんのこと、その活動に協力できる機会を広げてほしい。
- ❖ 学生が地域の課題に関わり、考えてもらう機会を作ってもらうことは大変有意義と思う。秋田県の人口減の問題など、学生の若い頭で考えた方策が県や市町村に届くようになれば良いと思う。
- ❖ 県内の各分校の取組については地域に根ざしており評価いたします。今後とも大学キャンパス内ではなく、公共施設(文化施設、コミセン等)やフィールド(学校)等を活用して、県民の方々に理解を深めてもらう取組を期待いたします。
- ❖ 理工学部における取組に期待したい。
- ❖ 本当に地域は活性化していくか、これからは本番だと思います。大学の一般的なヒトリヨガリに終わらないで欲しい。
- ❖ 高齢化が推進している本県において、若者の県外への流出は今すぐに対策が必要な問題であると思います。それを「教育」という面で秋田の地元の小・中・高校で受ける教育の中で秋田の良さや知識を得られるようなコンテンツを含む必要があると思いました。
- ❖ 現行のCOC事業の発展、強化を。長期的、継続的に進めて欲しい。
- ❖ 大学の持つ地域資源に関する知見を産業振興、人材育成により幅広い年代が活動できる地域社会形成に活かしてほしい。

<p>❖文化、産業遺構(例えば、今日の阿仁の例はポテンシャルを感じます)等をベースとした地域創成への貢献(具体的には人を呼び込む仕掛け)。 ❖子どもたちへの自分の生まれた郷土に関する教育(というかもう少しやさしい言い方)、話し合いの場の創成</p>
<p>❖高齢者を対策とした体験型、生涯学習。 ❖学生による除雪ボランティア。</p>
<p>❖地域と連携して、課題解決に取り組んでほしい。</p>
<p>❖秋田大学を中心に人口減少対策について。このままでは県は山陰地方の県人口の少ない県となることが目に見えてきた。大学の研究を通じ、行政と一体となった人口増対策を長い目でもって取り組む事を望みたい。行政の提案だけでは、その対策ができないように思います。</p>

5. 本日の成果発表会についての感想を自由にお書きください。

<p>❖防災の対策ですが具体的な対策まで聞きたかった。</p>
<p>❖多様な興味深い取組がされていることに驚きました。成果をもっとアピールするとよいかと思います。</p>
<p>❖大変勉強になりました。出席者に学生の方や一般の方が増えたらより良いと思います。</p>
<p>❖地域と連携した取組を多数行われていることを知ることができました。</p>
<p>❖色々勉強になりました。</p>
<p>❖私たち学生が行っていることが実際に地域とつながり、改善に結びついており、私たちが役に立っていると実感することができました。また、同じ学校内でも知らない取組が多く、新しい地域とのつながりを知るきっかけとなりました。</p>
<p>❖現在自分が関わっている事業については理解していたが、COC事業全体像をなかなか把握できずにいたので、各テーマの成果発表を聴講できて有意義でした。COC事業の運営に携わってこられた事務局の皆様、大変お疲れ様でございました。</p>
<p>❖今井先生のお話より、鉱山の歴史を語るとしたら、小坂町は歴史を語る上でも歴史的資料も残っていると思った。小坂にも阿仁にも行って見たが、阿仁の伝承館はとても寂しい感じだった。秋田の鉱山の歴史はもっともっと世間の方へ知ってもらいたいものだと思うので、今後も楽しみにしています。</p>
<p>❖秋田の地震はあまり津波の影響を受けないと考えていましたが、潟上やにかほで13~14世紀に大津波があった様な形跡が残っているとのことは、今日初めて知りました。自分を含め県民の大半は日本海中部地震くらいの知識しか無いと思いますので、調査等を活用して啓蒙を行えば良いと考えました。</p>
<p>❖テーマ3(地域文化振興による元気な地域づくり 鉱山の隆盛がもたらした阿仁文化の現代への活用(阿仁の今昔物語))は非常に興味深かった。秋田県の活性化にはこの手の情報発信が最終兵器だと思う。強く期待する。</p>
<p>❖各種テーマについて、受講でき良い機会となりました。本県では人口減少、高齢化が課題となる中、COC事業の取組成果事例について参考とすべき点が多く、これらを継続していくことが大切だと感じました。</p>
<p>❖各分野での課題に対するアプローチが共通して地域住民への聞き取りがあったのでよかった。</p>
<p>❖阿仁地区の歴史について、初めて深く学べ、施策を考える上で参考になりました。</p>
<p>❖今後もよろしくお願ひします。</p>
<p>❖大学で蓄積された知見を社会貢献という形で還元する取組を今後も進めていただきたい。</p>
<p>❖各々の地域に対し、専門分野からの考察が行われることと、それを聞くことができ、有意義なことと強く感じた。</p>
<p>❖先生の発表に加えて、講義を受講した学生の発表も聞いてみたかった。</p>
<p>❖とても興味深い話でしたが、1つ1つのコマの時間が短いと思いました。</p>
<p>❖地域文化学科の「地域学基礎」の一般聴講はできないだろうか。</p>
<p>❖楽しく話を聞かせていただきました。予算の都合があるかもしれませんが、このような活動の更なる進展を期待したいです。</p>
<p>❖秋田県は今後とも高齢化社会のモデルとなりうると思ひました。限界集落等コミュニティが成り立たなくなる地域もある中で、どう対応していくかをさらに掘り下げていただければと思ひます。県内の同様な資源を持つ地域を結びつけていくこと、物語を作り出していくことが重要と思ひます。大学が人づくりを進めながら中心となって活動していただければと思ひます。</p>
<p>❖志立先生の報告について、「秋田学」を広く深めるよう一層がんばってください。</p>
<p>❖大変よかったと思ひます。これからも県の課題について研究を進められるよう努力して欲しいと思ひます。</p>
<p>❖幅広いテーマの報告が聞けて、参考になりました。</p>